

校長 「2 学期始業式の話」

この夏は、パリオリンピックで活躍する日本選手の話や、メジャーの大谷翔平選手の 40.40 など明るい話題がもちきりでした。本校でも、たくさんの部活動が、筑前地区大会や県大会まで勝ち進み、素晴らしいプレーや試合を見せてくれました。一生懸命で真剣な姿に感動すると同時に、福岡中学校の皆さんを誇りに思いました。その中でも全国大会・九州大会に出場された柔道・陸上・水泳・相撲の皆さん、大会出場おめでとうございます。柔道部の佐々木さんは全国大会個人戦第 3 位という結果でした。おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、今日から二学期が始まります。振り返ると 7 月 20 日から、38 日間の夏休み有意義に過ごせたでしょうか？3 年生で部活や社会体育をしていた人は、引退後、次の進路を考える切り替えの時間が持てたと思います。3 年生は進路に向けての勉強、1・2 年生は、部活動や社会体育などの日々の生活を頑張ったことでしょうか。また、ボランティア・地域活動、スマホを使う時間、宿題、習い事、塾、自分の勉強、自由研究、旅行、体験活動など、たくさん時間が持てたのではないかと思います。私も、中学校の頃を……。今学期も、一日一日いろいろな事や目の前のことを大いに頑張ってください。そして、何のためにしているのかをはっきりさせ、良い結果が出なかったら、努力の方法を考えなおし工夫し、またチャレンジして「極める力」をつけてもらいたいと思います。

世界では、終わりが見えない 2 つの戦争状況も、日々伝えられています。そこに、地球を壊滅してしまう量の核兵器があることも大変心配なところです。また、シンギュラリティ「技術的特異点」AI と人間の知能が並び逆転するときに到来します。人間が AI を操れなくなったり、貧富の差がより激しくなったり、新たな課題が生じる危険性を危惧している意見も多いようです。正確には誰もわかっていない状況です。しかし、数年後、これまで経験したことがない大きな変化が起こることは間違えないようです。

そんな中で大切なことは、私たちはこの「人工知能というテクノロジーに対応」し、「世のため人のため」に行く、「世のため人のため」という発想を持つこと、いろいろな「極める力」を身に付けることなどが大切とされています。みなさんの、これからの努力が、良い未来を作ります。これからの、よりよい社会を創っていくために、勉強や芸術、スポーツ、地域の課題に目を向けて考え行動すること、テクノロジーを使いこなすことなど、いろいろなことにチャレンジして頑張っていきましょう。